

保健学研究科 博士後期課程 看護学分野
看護学高度研究コース カリキュラム・マップ

卒業・学位授与方針（ディグリー・ポリシー）における修得できる力					
	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
保健学研究科 博士後期課程 看護学高度研究コース	看護学の実践・教育・研究・人材育成における課題を定め、差異を活かし、医科学の向上やヘルスプロモーションのために新たな知見や解決策を社会に示す実践力	看護学の実践・教育・研究・人材育成における課題の本質を独創的に見極め、顕わす探究力	看護学の実践・教育・研究・人材育成においてリーダーシップを発揮できるコミュニケーション力	自立した研究能力を持ち、新たな知見を発見し、機器・技術等を創造できる専門力	様々な価値観に対する多角的視点と柔軟な発想を持ち、グローバル化等社会の変化に迅速に対応でき、自らの智をたくましくする教養力
	看護学における医科学の向上やヘルスプロモーションの必要性を説明できる。 看護学の課題と向き合う中で、他の専門との差異を理解して互恵的に生かし、課題を解決できる。 看護学の実践・教育・研究・人材育成において、生涯にわたって、新たな知見や解決策を社会に発信できる。	看護学の専門的学識を用いて、独自の観点から課題の本質や普遍性を発見し、自ら解決方法を見いだせる。 見出した本質や普遍性を、広く社会に平易な言葉で解説できる。	看護学の実践・教育・研究・人材育成において、知識や技術を他者へ明確に伝達できる。 看護学を背景とするチーム医療における役割を見だし、説明できる。 医療関係者それぞれの立場、知識、スキルを理解した上で、他者と議論できる。 円滑なコミュニケーションにより、専門領域を超えた互恵的な関係を築くことができる。	看護学の高度専門職としての知識と研究方法を説明でき、技術を利用できる。 知識、技能を深く統合できる。 新たな知見を発見でき、機器・技術等を創造できる。	情報の収集・分析などを行うことができ、適切に活用できる。 グローバル化など社会の変化を説明できる。 幅広い価値観から学ぶことを通して自らの成長に繋げることができる。

区 分	科目名	年次	単位数		修得できる力				
			必修	選択	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
コア科目	学位プログラム概論	1・2	1		○	◎		○	◎
	インタープロフェSSIONALワーク論	1・2	2			○	◎	○	◎
	Introduction course for health sciences	1・2		2	○		◎	○	◎
看護学共通科目 基礎看護学 成育看護学	看護学研究特講	1		2	○	◎		○	
	実践科学統計学	1		2	○	◎		○	
	グローバル・プレゼンテーション1	1～3		1	○	◎		○	
	グローバル・プレゼンテーション2	1～3		1	○	◎		○	
	国際研究インターンシップ（後期）	1～3		1	○	○		◎	
	インターンシップ実践（後期）	1～3		1	○	○		◎	
	基礎看護学特講	1		2	○	◎		○	
	基礎看護学演習	1		2	○	◎		○	
	感染管理学特講	1		2	○	◎		○	
	感染管理学演習	1		2	○	◎		○	
	基礎看護学特別研究	3	(4)		○	◎		○	
	成育看護学特講	1		2	○	◎		○	
	成育看護学演習	1		2	○	◎		○	
	小児看護学特講	1		2	○	◎		○	

区 分		科目名	年次	単位数		修得できる力				
				必修	選択	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
看護学専門科目	看護学	小児看護学演習	1		2	○	◎		○	
		リプロダクティブヘルスト講	1		2	○	◎		○	
		リプロダクティブヘルス演習	1		2	○	◎		○	
		成育看護学特別研究	3	(4)		○	◎		○	
	臨床応用看護学	緩和ケア科学特講	1		2	○	◎		○	
		緩和ケア科学演習	1		2	○	◎		○	
		成人看護科学特講	1		2	○	◎		○	
		成人看護科学演習	1		2	○	◎		○	
		臨床応用看護学特別研究	3	(4)		○	◎		○	
	コミュニティヘルス看護学	地域公衆衛生看護学特講	1		2	○	◎		○	
		地域公衆衛生看護学演習	1		2	○	◎		○	
		看護政策システム学特講	1		2	○	◎		○	
		看護政策システム学演習	1		2	○	◎		○	
		老年看護学特講	1		2	○	◎		○	
		老年看護学演習	1		2	○	◎		○	
		地域ケア開発学特講	1		2	○	◎		○	
		地域ケア開発学演習	1		2	○	◎		○	
		精神保健看護学特講	1		2	○	◎		○	
		精神保健看護学演習	1		2	○	◎		○	
		コミュニティヘルス看護学特別研究	3	(4)		○	◎		○	

◎、○の記号は修得できる力との関連度を表す。 ◎：強く関連する、○：関連する

保健学研究科 博士後期課程 放射線技術科学分野
放射線技術科学・先端研究コース カリキュラム・マップ

卒業・学位授与方針（ディグリー・ポリシー）における修得できる力					
保健学研究科博士後期課程放射線技術科学・先端研究コース	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	放射線技術科学の実践・教育・研究・人材育成における課題を定め、差異を活かし、医科学の向上やヘルスプロモーションのために新たな知見や解決策を社会に示す実践力 放射線技術科学における医科学の向上やヘルスプロモーションの必要性を説明できる。 放射線技術科学の課題と向き合う中で、他の専門との差異を理解して互恵的に生かし、課題を解決できる。 放射線技術科学の実践・教育・研究・人材育成において、生涯にわたって、新たな知見や解決策を社会に発信できる。	放射線技術科学の実践・教育・研究・人材育成における課題の本質を独創的に見極め、顕わす探究力 放射線技術科学の専門的学識を用いて、独自の観点から課題の本質や普遍性を発見し、自ら解決方法を見いだせる。 見出した本質や普遍性を、広く社会に平易な言葉で解説できる。	放射線技術科学の実践・教育・研究・人材育成においてリーダーシップを発揮できるコミュニケーション力 放射線技術科学の実践・教育・研究・人材育成において、知識や技術を他者へ明確に伝達できる。 放射線技術科学を背景とするチーム医療における役割を見だし、説明できる。 医療関係者それぞれの立場、知識、スキルを理解した上で、他者と議論できる。 円滑なコミュニケーションにより、専門領域を超えた互恵的な関係を築くことができる。	自立した研究能力を持ち、新たな知見を発見し、機器・技術等を創造できる専門力 放射線技術科学の高度専門職としての知識と研究方法を説明でき、技術を利用できる。 知識、技能を深く統合できる。 新たな知見を発見でき、機器・技術等を創造できる。	様々な価値観に対する多角的視点と柔軟な発想を持ち、グローバル化等社会の変化に迅速に対応でき、自らの智をたくましくする教養力 情報の収集・分析などを行うことができ、適切に活用できる。 グローバル化など社会の変化を説明できる。 幅広い価値観から学ぶことを通して自らの成長に繋げることができる。

区 分	科目名	年次	単位数		修得できる力				
			必修	選択	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
コア科目	学位プログラム概論	1・2	1		◎	◎		◎	◎
	インタープロフェッショナルワーク論	1・2	2		◎		◎	◎	
	Introduction course for health sciences	1・2		2	◎		◎		◎
放射線技術科学専門科目	放射線技術科学共通科目	グローバル・プレゼンテーション1	1～3	1	◎	◎		◎	
		グローバル・プレゼンテーション2	1～3	1	◎		◎		◎
		国際研究インターンシップ（後期）	1～3	1	◎	◎	◎		
		インターンシップ実践（後期）	1～3	1	◎		◎	◎	
	医用情報理工学	医用物理工学特講	1	2		◎		◎	◎
		医用物理工学演習	1	2	◎			◎	◎
		医用画像解析・診断技術学特講	1	2		◎		◎	◎
		医用画像解析・診断技術学演習	1	2	◎		◎	◎	
		医用情報理工学特別研究	3	(4)	◎	◎	◎	◎	◎
	放射線健康支援科学	放射線診療技術学特講	1	2	◎	◎		◎	
		放射線診療技術学演習	1	2	◎		◎	◎	
		放射線生命・健康科学特講	1	2		◎		◎	◎
		放射線生命・健康科学演習	1	2	◎	◎		◎	
		放射線健康支援科学特別研究	3	(4)	◎	◎	◎	◎	◎

◎、○の記号は修得できる力との関連度を表す。 ◎：強く関連する、○：関連する

保健学研究科 博士後期課程 検査技術科学分野
臨床検査科学・先端研究コース カリキュラム・マップ

卒業・学位授与方針（ディグリー・ポリシー）における修得できる力					
保健学研究科博士後期課程臨床検査科学・先端研究コース	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	臨床検査科学の実践・教育・研究・人材育成における課題を定め、差異を活かし、医科学の向上やヘルスプロモーションのために新たな知見や解決策を社会に示す実践力	臨床検査科学の実践・教育・研究・人材育成における課題の本質を独創的に見極め、顕わす探究力	臨床検査科学の実践・教育・研究・人材育成においてリーダーシップを発揮できるコミュニケーション力	自立した研究能力を持ち、新たな知見を発見し、機器・技術等を創造できる専門力	様々な価値観に対する多角的視点と柔軟な発想を持ち、グローバル化等社会の変化に迅速に対応でき、自らの智をたくましくする教養力
	臨床検査科学における医科学の向上やヘルスプロモーションの必要性を説明できる。 臨床検査科学の課題と向き合う中で、他の専門との差異を理解して互恵的に生かし、課題を解決できる。 臨床検査科学の実践・教育・研究・人材育成において、生涯にわたって、新たな知見や解決策を社会に発信できる。	臨床検査科学の専門的知識を用いて、独自の観点から課題の本質や普遍性を発見し、自ら解決方法を見いだせる。 見出した本質や普遍性を、広く社会に平易な言葉で解説できる。	臨床検査科学の実践・教育・研究・人材育成において、知識や技術を他者へ明確に伝達できる。 臨床検査科学を背景とするチーム医療における役割を見だし、説明できる。 医療関係者それぞれの立場、知識、スキルを理解した上で、他者と議論できる。 円滑なコミュニケーションにより、専門領域を超えた互恵的な関係を築くことができる。	臨床検査科学の高度専門職としての知識と研究方法を説明でき、技術を利用できる。 知識、技能を深く統合できる。 新たな知見を発見でき、機器・技術等を創造できる。	情報の収集・分析などを行うことができ、適切に活用できる。 グローバル化など社会の変化を説明できる。 幅広い価値観から学ぶことを通して自らの成長に繋げることができる。

区 分		科目名	年次	単位数		修得できる力				
				必修	選択	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
コア科目		学位プログラム概論	1・2	1						◎
		インタープロフェSSIONナルワーク論	1・2	2			○	○		◎
		Introduction course for health sciences	1・2		2					◎
検査技術科学専門科目	検査技術科学共通科	グローバル・プレゼンテーション1	1～3		1			○		
		グローバル・プレゼンテーション2	1～3		1			○		
		国際研究インターンシップ（後期）	1～3		1			○		
		インターンシップ実践(後期)	1～3		1	◎				
	病態情報科学	組織・細胞情報学特講	1		2				◎	
		組織・細胞情報学演習	1		2	◎				
		感染症・病原因子解析学特講	1		2				◎	
		感染症・病原因子解析学演習	1		2	◎				
		病態情報科学特別研究	3	(4)			◎			
	生体情報科学	生体機能情報学特講	1		2				◎	
		生体機能情報学演習	1		2	◎				
		生体防御機能解析学特講	1		2				◎	
		生体防御機能解析学演習	1		2	◎				
		生体情報科学特別研究	3	(4)			◎			

◎、○の記号は修得できる力との関連度を表す。 ◎：強く関連する、○：関連する

保健学研究科 博士後期課程 検査技術科学分野
超音波検査士育成コース（博士前・後期一貫コース） カリキュラム・マップ

卒業・学位授与方針（ディグリー・ポリシー）における修得できる力					
保健学研究科 博士後期課程 超音波検査士育成 コース（博士前期・ 後期課程一貫コース）	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	医用超音波診断の実践・教育・研究・人材育成における課題を定め、差異を活かし、医科学の向上やヘルスプロモーションのために新たな知見や解決策を社会に示す実践力	医用超音波診断の実践・教育・研究・人材育成における課題の本質を独創的に見極め、顕わす探究力	医用超音波診断の実践・教育・研究・人材育成においてリーダーシップを発揮できるコミュニケーション力	自立した研究能力を持ち、新たな知見を発見し、機器・技術等を創造できる専門力	様々な価値観に対する多角的視点と柔軟な発想を持ち、グローバル化等社会の変化に迅速に対応でき、自らの智をたくましくする教養力
	医用超音波診断における医科学の向上やヘルスプロモーションの必要性を説明できる。 医用超音波診断の課題と向き合う中で、他の専門との差異を理解して互恵的に生かし、課題を解決できる。 医用超音波診断の実践・教育・研究・人材育成において、生涯にわたって、新たな知見や解決策を社会に発信できる。	医用超音波診断の専門的学識を用いて、独自の観点から課題の本質や普遍性を発見し、自ら解決方法を見いだせる。 見出した本質や普遍性を、広く社会に平易な言葉で解説できる。	医用超音波診断の実践・教育・研究・人材育成において、知識や技術を他者へ明確に伝達できる。 医用超音波診断を背景とするチーム医療における役割を見だし、説明できる。 医療関係者それぞれの立場、知識、スキルを理解した上で、他者と議論できる。 円滑なコミュニケーションにより、専門領域を超えた互恵的な関係を築くことができる。	医用超音波診断の高度専門職としての知識と研究方法を説明でき、技術を利用できる。 知識、技能を深く統合できる。 新たな知見を発見でき、機器・技術等を創造できる。	情報の収集・分析などを行うことができ、適切に活用できる。 グローバル化など社会の変化を説明できる。 幅広い価値観から学ぶことを通して自らの成長に繋げることができる。

区 分		科目名	年次	単位数		修得できる力				
				必修	選択	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
コア科目		学位プログラム概論	1・2	1		○	○			◎
		インタープロフェッショナルワーク論	1・2	2				◎		
		Introduction course for health sciences	1・2		2					◎
検査技術科学専門科目	検査技術科学共通科目	グローバル・プレゼンテーション1	1～3		1	◎				
		グローバル・プレゼンテーション2	1～3		1	◎				
		国際研究インターンシップ（後期）	1～3		1			◎		
	病態情報科学	組織・細胞情報学特講	1		2				◎	
		組織・細胞情報学演習	1		2	○			◎	
		感染症・病原因子解析学特講	1		2				◎	
		感染症・病原因子解析学演習	1		2	○			◎	
		病態情報科学特別研究	3	(4)		○			◎	
	生体情報科学	生体機能情報学特講	1		2				◎	
		生体機能情報学演習	1		2	○			◎	
		生体防御機能解析学特講	1		2				◎	
		生体防御機能解析学演習	1		2	○			◎	
		超音波画像計測学実習Ⅲ	1		4	○			◎	
		超音波画像計測学実習Ⅳ	2		4	○			◎	
		超音波画像計測学実習Ⅴ	3	4		○			◎	
		生体情報科学特別研究	3	(4)		○			◎	

◎、○の記号は修得できる力との関連度を表す。 ◎：強く関連する、○：関連する

保健学研究科 博士後期課程 検査技術科学分野
ゲノム医療・医科学研究コース カリキュラム・マップ

卒業・学位授与方針（ディグリー・ポリシー）における修得できる力					
保健学研究科博士後期課程 ゲノム医療・医科学研究コース	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
	ゲノム医療の実践・教育・研究・人材育成における課題を定め、差異を活かし、医科学の向上やヘルスプロモーションのために新たな知見や解決策を社会に示す実践力	ゲノム医療の実践・教育・研究・人材育成における課題の本質を独創的に見極め、顕わす探究力	ゲノム医療の実践・教育・研究・人材育成においてリーダーシップを発揮できるコミュニケーション力	自立した研究能力を持ち、新たな知見を発見し、機器・技術等を創造できる専門力	様々な価値観に対する多角的視点と柔軟な発想を持ち、グローバル化等社会の変化に迅速に対応でき、自らの智をたくましくする教養力
	ゲノム医療における医科学の向上やヘルスプロモーションの必要性を説明できる。 ゲノム医療の課題と向き合う中で、他の専門との差異を理解して互恵的に生かし、課題を解決できる。 ゲノム医療の実践・教育・研究・人材育成において、生涯にわたって、新たな知見や解決策を社会に発信できる。	ゲノム医療の専門的学識を用いて、独自の観点から課題の本質や普遍性を発見し、自ら解決方法を見いだせる。見出した本質や普遍性を、広く社会に平易な言葉で解説できる。	ゲノム医療の実践・教育・研究・人材育成において、知識や技術を他者へ明確に伝達できる。 ゲノム医療を背景とするチーム医療における役割を見だし、説明できる。 医療関係者それぞれの立場、知識、スキルを理解した上で、他者と議論できる。 円滑なコミュニケーションにより、専門領域を超えた互恵的な関係を築くことができる。	ゲノム医療の高度専門職としての知識と研究方法を説明でき、技術を利用できる。 知識、技能を深く統合できる。 新たな知見を発見でき、機器・技術等を創造できる。	情報の収集・分析などを行うことができ、適切に活用できる。 グローバル化など社会の変化を説明できる。 幅広い価値観から学ぶことを通して自らの成長に繋げることができる。

区 分		科目名	年次	単位数		修得できる力				
				必修	選択	実践力	探究力	コミュニケーション力	専門力	教養力
コア科目		学位プログラム概論	1・2	1		○	○			◎
		インタープロフェッショナルワーク論	1・2	2				◎		
		Introduction course for health sciences	1・2		2					◎
検査技術科学専門科目	検査技術科学共通	グローバル・プレゼンテーション1	1～3		1	◎				
		グローバル・プレゼンテーション2	1～3		1	◎				
		国際研究インターンシップ（後期）	1～3		1			◎		
	病態情報科学	組織・細胞情報学特講	1	2					◎	
		組織・細胞情報学演習	1	2		○			◎	
		感染症・病原因子解析学特講	1		2				◎	
		感染症・病原因子解析学演習	1		2	○			◎	
		病態情報科学特別研究	3	(4)		◎			◎	
	生体情報科学	生体機能情報学特講	1		2				◎	
		生体機能情報学演習	1		2	○			◎	
		生体防御機能解析学特講	1		2				◎	
		生体防御機能解析学演習	1		2	○			◎	
		生体情報科学特別研究	3	(4)		○			◎	

◎、○の記号は修得できる力との関連度を表す。 ◎：強く関連する、○：関連する